

第3回オペレーティング・モデル及び 管理手続きに関する技術会合

暫定議題案

アラスカ科学センター, NOAA, シアトル, 2010年6月21～25日

付託事項

最初のMPテストの結果の評価及びテストのプロトコールの改良

議題案

1. 4月の戦略・漁業管理作業部会からのインプットに関する議論

2. 管理手続き及び入力データ

[2009年ESC後のOM及び入力データに関するレビュー/文書の修正。]

2.1. 条件付けに関する航空調査の仕様の変更

2.2. 条件付けに使用するCPUEデータ

2.3. 2009年の漁獲及びCPUEデータ並びに2010年の航空調査指標を、MPテストに使用する模擬データと差し替えることの実行可能性

[今のところ、以下の漁獲量が将来予測に使用されている。2009年のTACは6月に2009年の実際の漁獲量に差し替え、2010年及び2011年の将来推定漁獲量の見直しも同時期に行われる予定。2010年の実際の航空調査指標は、6月に取り込まれる予定。]

年	TAC の総量	LL1	LL2	産卵親魚 漁業	表層漁 業
2009	11810	4645.40	1133.55	789.03	5242.02
2010	10613.44	3671.60	1020.20	679.62	5242.02
2011	8284.56	4158.72	688.09	684.82	2752.93

2.4. OMのシナリオの作成過程で遭遇するその他の課題??

3. MPテストの結果の評価

3.1 最初のMPの試行結果のレビュー

[リファレンス・セット及び頑健性試験に関するMPの候補の結果をレビューした各国科学者から提出される文書。]

3.2 比較のためのベースとなるチューニングレベルの選定

[会合中にMPの再チューニングが必要となる可能性がある。過去、現在よりもSSBの中央値にチューニングしたことがあり、また、SSBの増加に関して一定の確率にチューニングした。]

3.3 チューニングしたMPのパフォーマンスの比較。

3.4 セットを削減したMPの選択

4. リファレンス・セット及び頑健性試験の再考

4.1 最終テストのためのリファレンス・セット及び頑健性試験の選定

5. テストのプロトコール及びパフォーマンス統計

3.1 シミュレーションの対象期間

3.2 TAC 変更スケジュール

3.3 漁業間の配分

[コントロール・ファイルのデフォルトは、ノミナルの配分量に基づいている。代替的なハード・ワイヤードの配分は、3000トンとしている日本以外は、ノミナルに基づいている。catch_split.xls を参照。]

3.4 チューニングレベル

3.5 パフォーマンス統計量、表及びグラフ

6. 作業計画及びタイムテーブル

4.1 必要に応じて OM のコード及び関連するグラフィックスファイルを更新する

4.2 休会期間中の作業計画の策定

4.3 ESC で議論すべき課題の特定

[メタ・ルール、実施課題については、先延ばしされ ESC で議論されることになるであろう。]

7. OM 及び MP に関する将来の発展

[2010 年より先の発展に関する提案について議論する。]

5.1 航空調査を取り扱うための代替的な手法(調査のセレクトィビティに関する CSIRO からの提案)

5.2 コーディングに関する課題(バージョン・コントロール等)

5.3 その他